



「茶畑からの社会貢献」を茶畑オーナーと創り上げる
おぶぶのコミュニティー専門誌

茶畑オーナー通信

秋摘みのお茶は、栄養たっぷり♪ ~秋の新茶 月見煎茶~

『茶畑の中心で
「あい」と叫ぶ』
特別号

特集

「茶源郷まつり」に行こう！

—茶畑からお茶の魅力のすべてを伝える—

今月の表紙：茶畑の中の新郎新婦

この度めでたく結婚した、
おぶぶ代表あつきーと、
神奈川から嫁いできた藍ちゃん

2012
9月号

新茶といえば春！というイメージがありますよね。

しかししかし、新茶は秋にも採れるんです。というか、おぶぶ

では採っちゃうんです！

一般的には、秋に採られるお茶は秋番茶と呼ばれます。秋！新茶！という感じではありませんよね。

しかし！番茶で終わらせるのはもったいない！秋の煎茶はすごく体に良いですよ。お手元の茶葉を見ていただくとお分かりいただけると思います。秋のお茶はごつごつしています。春の新茶などに比べたら、たくましくて野性的、ですよ。何だかイカツイ感じで近寄りがたい…なんて思っていますか。いえいえ、そんな見た目だけで判断することなかれ！秋の茶葉は栄養たっぷりの魅力あふれるお茶なんです！

秋摘みのお茶は栄養たっぷり 秋の新茶 「月見煎茶」

この秋番茶には、ポリサッカライドという成分がたくさん含まれているとも言われています。

確かなことはわかっていないようですが、ポリサッカライドには血糖値を下げる作用があるという報告もあります。

それに加えて、秋摘みのお茶はカテキンも豊富！カテキンには抗酸化作用や脂肪燃焼効果があり、生活習慣病の予防もしてくれます。

まさに秋の新茶は、リーズナブル！なんです（秋茶葉に限ったことではありませんけれども）。

美味しいお茶を飲んだ上に、健康になれる、一石二鳥のお茶、それが「お月見煎茶」です。

どうぞ秋の夜長に、じっくりと味わってみてください。



オーナー茶園よりあっきー・・・ではなく、 あいさんの「茶畑日誌」

(2012.7.11~2012.9.10)

「はじめまして、あっきーの妻・あいです!」の巻

表紙を見てお気付きの方もおられますでしょうが、この度、めでたくもおぶぶ代表の喜多章浩が結婚しました!

ということで、今回の「茶畑日誌」は茶苑主喜多章浩のお嫁さん「あいさんによる茶畑日誌!」ということで、お届けしたいと思います。



夫唱婦随でがんばります。

※茶苑主喜多章浩(あっきー)の妻・藍について;



神奈川県海老名市出身。ふと、田舎に行きたくなりインターネットで「京都・田舎」と検索し、和東を訪れたのが去年の8月。そこで和東町民の胃袋をつかむ名店「たんぽぽ(お好み焼き屋)」にて、あっきーにナンパされてしまい、今に至る。

7月に和東にやって来た私は、二番茶の収穫にも携わりました。

一番大変だったのは、刈り取った茶葉を運ぶこと。何もかもがはじめての中、真っ黒に日焼けしながら重い茶葉を運んで、一生懸命働きましたよ。



慣れない農作業にも奮闘中

まだまだわからないことばかりですが、これから和東で頑張っていきます。どうぞ、宜しくお願いします。(あい)



でも、空気のうまい茶畑での農作業は楽しい!

さて、おぶぶの事務所がある、和東南にも先のような「二口女」と同じ系統である「食わず女房」という話が伝わっているんです。



「食わず女房」に類似した「二口女」

江戸時代の奇談集『絵本百物語』に「二口女」という女の妖怪の話があります。後頭部にもう一つの口を持ち、髪を触手のように使い、後頭部の口から食べ物を摂取します。

むかしむかし和東南のお話です。琵琶湖にね、よく働く男がいたんやあって。そして、それを見ていた美しい女の人がいたんやあって。男は気に入ってその人をお嫁にもらったんやあって。そしたら、よく働くのに御飯は食べなかつたんやあって。不思議に思った男が、ある日隠れて女を見ていたら、髪が蛇になって御飯を飲み込んだんやあって。それを見た男は怖くなって別れたんやあって。どんとはれ。

和東に伝わる妖怪伝説
「食わず女房」

和東のトリビア

第5回

「茶源郷まつり」

「茶源郷まつり」

茶畑からお茶の魅力の
すべてを伝える



来る十一月三・四日、茶産地・和東のお祭り「茶源郷まつり」が開催されます。このお祭りをむちやくちや楽しいお祭りにするため、おぶぶも全精力をかけてお手伝いさせていただきます！

◆茶源郷まつり

茶源郷まつりは、古くは和東町の産業祭としてはじまり、途中グリーンフェスタと呼ばれたり、さまざまな形をとりながら、三十年以上続けられているお祭りです。しかしながら、町の過疎高齢化や不況、少子化などにより最近では縮小の一途をたどってきました。そんな状況を打破し、茶産地・

もらうためにも、今年は新しい形でやってみようという動きの中で、今回「第一回 茶源郷まつり」として、生まれ変わることになりました。その新潮流のなかで、おぶぶがお祭りのアイデアを提案させていただき、また運営もさせていただきます！

独り言コラム

く 伝統と革新の渦中 く
お祭りまで残り二カ月（この原

稿を書いているのは9/4）を切った現状としては、これまで深く携わってきた関係者の多くが、祭りが盛り上がることで自体には大賛成でも、これまでの祭りに鬱積した想いがあり、一筋縄ではいかなかったことが非常に多いです。みんな楽しんでほしいお祭りを素直に楽しめない状況を今は少しずつ溶かしているような状況です。たぶんこの状況は既存のものを変えてゆく過程においては避けては通れない道なんでしょうね。

①世界のお茶が無料で飲み放題

スリランカやインド、チベットなど海外のお茶をはじめ、国内からは和東はもちろん福岡や静岡、埼玉からもご出展いただく予定です。世界中から集まった茶産地直送のさまざまなお茶がお楽しみいただけます！

②お茶尽くしの屋台村

チャコス（お茶タコス）やチャイ焼き（抹茶タイ焼き）、チャゲ鍋（ほうじ茶のチゲ鍋）などお茶を使った料理、スイーツのお店が四十店舗以上、出店予定です。ほかに日本一のお茶漬けやほうじ

◆見どころいろいろの茶源郷まつり



茶カレーや抹茶ベビーカステラ、抹茶おしるこなどなど、これまでに味わったことのないお茶料理が登場！見逃せませんよ！

③茶畑ツアー

お茶を飲むだけじゃつまんない！和東に来たら、やっぱり茶畑に触れてみなくちゃ！ということ、茶畑に皆さまをご案内します。今回は、ウォーキングやレンタルサイクル、バスツアーなど様々な形でお茶が生まれる地を五感で感じただけです。

④「お茶コン」で茶飲み友達が

5000人

おいしいお茶を飲みながら、どんどん友達をつくりましょう。お茶がきっかけで、世界中に楽しい茶飲み友達ができますよ。

◆茶畑オーナー様へのおねがい

この「茶源郷まつり」を、お茶や茶畑を愛する人々にとって、祇園祭やだんじりのように一年じゅう心待ちにするようなものにしていきたいと思っています。だから茶畑オーナー様にもご一緒にいただき、一緒にこのお祭りで盛り上がりていきたいのです。

・茶畑オーナーブースを作ろう！

茶畑オーナーになって和東と遠く離れても直接つながる楽しさを、他の方にも伝えてみませんか？そして、茶畑オーナー様同士の交流の場にしたいです。

・お祭りボランティアスタッフ募集！

五千人以上のお茶好きが集まる

「茶源郷まつり」。これだけの規模のお祭りは到底おぶぶのメンバーだけでは回しきれません。なので茶畑オーナー様。一緒にこのお祭りの運営スタッフとして働いてみませんか？

・「茶源郷まつり」への協賛

茶畑オーナーさままだから申し上げます。正直、予算が全くなく、資金調達にも奔走しています。この場でこのようなことをお願いするのは、不躰であることは重々承知しておりますが、もし可能であるならば、協賛金をいただけるととても助かります。町からの予算ももちろんありますが、それだけでは十分でないのも事実です。もしご協力いただけるなら、090-6129-6184（担当：おぶぶ松本 年中無休8〜24時）または0774-78-2911（平日9〜17時）、メール obubu@obubu.com までご連絡ください。

茶源郷和東の魅力、歴史や文化、またその地の空気感、そうしたものを総てを集めて、茶畑オーナーさまをはじめ、和東に暮らす人々や



おぶぶのメンバーと共に、永遠に人々の心と身体と魂に息づくような、そんな祭りを創り上げてゆきませんか。あなたのお力をぜひお貸しください。力をあわせて、楽しく素敵な「茶源郷まつり」をつくりあげましょう。

「茶源郷まつり」開催要項

●開催日：平成二十四年

十一月三日(祝)・四日(日)

●場所：和東運動公園

茶畑オーナー見聞録

お茶を愛し、地元を発信し続ける茶畑オーナー様たち

お茶カフェうさぎ・横尾久子さま

●おぶぶと共に茶文化の発信を

「お茶カフェうさぎ」は、おいしいお茶と無添加だんご、あんみつや和菓子、夏には、ふわふわのかき氷をお召し上がりいただける和風カフェです。

「近所のおばあちゃん」の「この辺りにお茶するところがないのよねー」の一言ではじめました。

そして、開店時にネット検索をして「おぶぶ茶苑」さんと出会い、オーナーにさせていただきました。

当店では、かぶせ茶、ほうじ茶や玄米茶を一煎目を急須でお入れし、二煎目からは、ポットに淹れたお湯で淹れていただき、お飲みいただけます。

冷も温も、こだわりを持って出されている。どれも人気のメニューとなっている。



地元の「お茶するところが無い」の声に応えてできた「カフェうさぎ」

ノーブランドの抹茶も手作り和菓子と一緒にお飲みいただいております。夏ですと、お菓子用のお抹茶を使って抹茶のかき氷をおだいたしてあります。

ご注文いただいておりますからおつくりする抹茶シロップは、大変好評でございます。是非、気分転換にお越しください。

ご質問などがありましたら、携帯メール「sham-yokoo@r7.dion.ne.jp」にいただけましたらとぞんじます。



「新世紀工房」さま

岐阜県・東白川村道の駅 道の駅店内・茶販売コーナー
標高 600メートルの茶園

●はじめに「有限会社新世紀工房」は・・・

美濃白川茶と東濃檜で知られる岐阜県・東白川村で、道の駅の運営、茶の加工販売、農業支援、季節野菜の栽培、食肉・惣菜の加工を行っています。弊社は平成十二年度から、村の農業を支えるために設立した会社で、主要業務は「おぶぶ茶苑」さんと同じような茶の加工販売です。

村で生産される茶の約6割を再生加工し、地産地消を進めながら農家の皆様と共に農地を守り、また農業を守るべく業務を進めております。

●お茶が店頭に並ぶまで

美濃白川茶発祥の地でもある東白川村のお茶は、山間の急斜面を利用した茶園が多く、清流白川から湧き立つ朝霧と澄みきった空気、昼夜の大きな温度差の中でゆっくりと、やわらかな新芽を育みます。

摘み取られた新葉は荒茶へと加工され、加工された荒茶は、村の後継者である茶師たちが真心を込め、白川茶に磨きをかけていきます。

この磨きをかけるとは、一般的には茶の仕上げと言われるもので、原材料である荒茶を、選別や火入れ（焙煎）を行うことで、見た目を整えると共に、茶の雑味を取り除き角の取れた円い味に調える作業の事です。

ある意味、茶を育てると表現しても良いのかもしれませんが、そのお茶本来の良さを見つけ、引き出すことが茶師の仕事であり、楽しみでもあります。

こうして出来上がったお茶は、道の駅店内の直売店にて「茶蔵園「さくらえん」」のブ



落ち着いた店内に映えるおしゃれなデザインのパッケージたち

ランドで販売しています。

●もてなしの心をもってお茶を出す

また1年前から店内に専門の喫茶コーナーを設け、ここでしか味わえない特別なお茶「極きわみ」を愉しんでいただけます。

農家の技術の粋を集めた、品評会用仕立ての最高峰のお茶が、「極」です。

道の駅に居ることを忘れ、ゆったりと落ち着いた癒しの空間で、心に残る感動を味わえます。東白川村にお越しいただく機会がありましたら、皆様ぜひ一度お試しくださいます。

美濃白川茶は全国的に見ると、まだまだ知られていない産地ですが、この土地を愛し、先人達が築き上げてきた美濃白川茶を後世に伝え、一人でも多くの方に知っていただき、お茶の良さ、感動を伝えていきたいと考えています。

●おわりに おぶぶぶとの関わり

数年前ネットショップセミナーに参加したことがきっかけで始まった「京都おぶぶ茶苑」の皆様とのお付き合い。まだまだ「おぶぶ茶苑」さんのお茶にはいきませんが、とにかくは「お茶の魅力を一人でも多くの人に伝えたい！」その変わらぬ思いを胸に、これからも茶業に携わってまいります。



茶蔵園「最高峰「極」セット 780円

～ 日本茶を世界へ ～

■ 7月末
インターンシップ生アレックス帰国

おぶぶ茶苑にインターンシップとして、アイルランドから来ていたアレックスが帰国しました。



■ 8/6
ポーランドから茶畑見学

はるばるポーランドより、お越しくできました。試飲会では、煎茶とほうじ茶を実際に自分でいれてもらったり、抹茶も点ててもらいました。



■ 8/31
フランスから茶畑見学
フランス、ルーアンよりお越しくできました。

～ 農業を楽しく ～

■ 9/8
お茶大イベント@田山小学校

2003年、128年の歴史に幕を閉じた、京都南山城村の田山小学校にて、南山城村と和東のお茶のことを、小学校の授業形式で三時限にわたり、楽しく学びました。



■ 9/12～18
催事出展@大丸京都店
大丸京都店の催事に出席しました！

活動報告
トピックス

茶畑オーナーさまのおかげで、たくさんの方が実現しました。ありがとうございます。

～ 茶畑からの社会貢献 ～

■ 7/25・8/22・8/29
ふれあいサロン茶会

3回に渡り社会福祉協議会の運営する「ふれあいサロン」にて、お年寄りの方にお茶をお淹れしました。氷出しのお茶が大人気でした。



～ その他 ～

■ 8/10
あい&あつきーお披露目会

この度めでたくゴールインしたあい&あつきーの新郎新婦、「山の家」でお披露目～。



■ 8/23
琴&タブラコンサート

古民家「和康庵」にて、和東出身の琴奏者・竹谷公裕さんと、タブラ奏者・タイバーホーさんのコラボコンサートが行われました。



■ 8/24～26
ヨガトリート

武井典子(ヨガ)、タイバーホー(タブラ奏者)といった世界的な先生をお迎えし、未知なる自己を探索し開放を図りました。

～ 今後の予定 ～

● 9/29 秋の茶摘体験

● 11/3 (土) 4 (日) 茶源郷まつりです。 ●

※ 次回の発送は11月16日頃の予定です。

● 編集後記「ぶぶ漬けたベヤー」

今年の夏も暑かったですね。そんな中、「茶畑日誌」でも紹介しました通り、代表の喜多章浩が結婚しました。お嫁さんの藍さんは、それまで関東に住んでいましたが、7月の一番暑い時期に嫁いで来ました。あきさんの畑仕事を一緒に手伝っていたので、大変そうでしたよ。二番茶摘が終わった頃には、真っ黒でした。そんなこんなで、より一層、賑やかにになりましたおぶぶです。これからもどうぞ宜しくお願いします。(まさみ)

今日のオナー状況 (2012年8月末日現在)

- 人数：総数601名 ●坪数総計：650坪
- 配送先：10カ国(日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス、ハンガリー)
- 人数の多い都道府県：1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集



〒619-1213 京都府 相楽郡和東町 南 大生水4-4
フリーダイヤル 0120-309-022 FAX 0774-78-2215
Mail obubu@obubu.com 京都おぶぶ茶苑 検索